

令和4年8月



みらい経営グループ
あなたの繁栄が私たちの喜びです！

税理士法人みらい経営レポート

〒456-0051 名古屋市熱田区四番二丁目14番34号

今月の視点

566号

7つの習慣で「運のいい人」になります ～日頃から人に好かれて仕事がうまくいく言動～

仕事の能力があるのになかなかチャンスをつかめない人もいれば、周りの人たちが協力してくれて仕事やプライベートで成功をつかむ人もいます。成功するためには実力だけではだめです。運が味方してくれなければなにごともうまくいきません。では、自分の運を良くするためにはどうすればいいのでしょうか。

今月は「運のいい人」になるために身に付けたい日頃の習慣について考えます。

(1) 「忙しい」という言葉は今日からやめよう

「忙しい」と言う人は、たいてい見栄っ張りです。「私は有能な人」とアピールすることで、完全燃焼できていない自分へのイラ立ちを消したいとか、自信のない自分や成果が出せない自分を隠したい人なのです。

スケジュールに遅れた言い訳で「すみません、ちょっと忙しくて……」と言う人がなぜ信用を失うかという、「自分のことに夢中で、相手のことはどうでもいい」という、自己中心的な気持ちを見透かされるからです。

つまり「忙しい」とは、自信のなさ、見栄えにすがりつく内面の弱さ、そして自己中心的な発想を露呈してしまうという、結構恥ずかしいセリフなのです。

また、意識的に「忙しい」を連発してみるとわかるのですが、不思議なことに、本当に慌ただしい気分になります。たとえば12月に入った途端、ふだんとやっていることは変わらないはずなのに、なんとなく気分が落ち着かなくなるのと同じように。そうやって慌ただしい気分になると、周囲を俯瞰して見る余裕、物事をじっくり考える余裕がなくなります。なぜそれが問題かという、変化に気がつかなくなるからです。

もちろん、ときには脇目もふらずに集中して取り組む場面もあるでしょう。だからといって、心まで忙しくなると、環境変化や大切な人が発しているメッセージに気がつかないことが往々にしてあるのです。

みらい経営グループ

夏季休暇 8月11日 ～ 8月15日

宜しくお願ひ致します。

だから「忙しい」という言葉を、やめましょう。具体的な方法は、ただ「忙しい」をやめ、「まだまだヒマだ」と自分に言い聞かせる、という単純なことです。

これには2つの効果があります。1つは、「忙しくて手が回らない」という自分への言い訳を排除できる点です。そして「この分量をどうやったらもっとうまくこなせるか」という発想に切り替わります。

もう1つの効果は、脳の思考領域に余裕ができる点です。忙しい中でも「忙しくない」と言い聞かせることで、「あれもこれもやらなきゃ」という心理的パニック状態から、一歩引いて冷静になることができます。

どう考えても忙しいのに、飄々とした顔で「いえ、問題ありません」という余裕は、ビジネスパーソンとしての大きな器を示すことができます。「ああ、忙しい、忙しい」とバタバタしている人よりも、表情を変えずに「あ、それ私がやりますよ」という人のほうが「できる」と感じます。仕事を頼みやすい、相談をしやすい雰囲気にもつながります。結果として、上司や部下から頼られます。

(2) 相手を重い通りに動かそうとするからイライラしてしまう

私たちが怒らせたり、不愉快にさせる大きな要因の1つに、「見返りを期待する気持ち」があります。「あの人にこれだけ恩を売ってあげた」という自分の思いが強ければ強いほど、その見返りが得られなかったときの失望感も大きくなります。

たとえば「自分が挨拶したら相手も挨拶を返してくれるだろう」という期待があると、そうでない場合には腹が立ちます。いろいろ世話をしたら、いつか恩返しをしてくれるだろうという期待があると、そうでないとき、「あんなに面倒を見てあげたのに、恩知らずだ」と腹が立つわけです。

でも、所詮は他人です。自分の思い通りに行動してくれるとは限りません。むしろ思い通りにはならないことの方が多いものです。だから、他人に何かをするときは、見返りを期待せずに、自分のためにやると思えばいいのです。「してあげる」という意識を捨てて、自分がうれしいから、楽しいから、トクをするから、という理由で行動することです。

挨拶をするのは、相手のためじゃなく自分に元気を与えるため、後輩を育てるのは、後輩のためではなく自分がラクになるため。ボランティアをするのは、弱者のためではなく自分の奉仕精神を満足させるため。子どもに尽くすのは、将来世話してもらうためではなく、単に自分が楽しいから。

そう考えれば、自分にメリットがあるので、他人に尽くすことが楽しくなります。それでいて周りから感謝されるのですから、見返りがなくてもOKということです。

(3) 「欲しいから買う」という発想ではお金が減っていくだけ

「欲しいから買う」というのは自然な消費行動のように見えますが、この発想ではお金が減っていく一方です。こういう人は、何に使ったのかわからないけど、なぜか給料日前にはお金がない、ということになりがちです。

ですから、「欲しい」という気持ちをどのようにコントロールし、何にお金を分配

するかで、私たちの人生は大きく変わると言えるでしょう。

① 自己の変革のためにお金を使う

まず、お金を払う前に、「それを買うことで、自分にどういうメリットがあるか」「その出資は、自分にどんな価値をもたらしてくれるか」を、いったん立ち止まって考えてみることです。

たとえば「新しいスマートフォンが欲しい」と思ったとき、「新製品がかっこいいから」「便利で使いやすいそうだから」という理由だけで購入すると、ただ「快適」「うれしい」だけで、とくに何かが変わるといえることはありません。しかし、たとえばスマートフォンの便利な使い方や解説書を電子書籍にして売ろうという場合、自分の収入アップにつながるので、それは立派な投資となります。

しかし、「同じ服を着ていると思われるのがイヤだ」「いまの服に飽きた」という理由で買っても、ただの自己満足です。日常生活に何らの変化ももたらせないのではないのでしょうか。

「自分が満足すればいい」という発想では、際限なく欲しいものが増え、お金が貯まりにくい体質になってしまいます。

② お金を使う「軸」をもつ

もっと根本的な判断軸を持っておくと、無駄遣いを劇的に減らすことができます。それは、「自分が目指す状態に近づくために、あるいは幸せになるために、お金をどこに振り向けるのがもっともパフォーマンスが高いか」を決めておくことです。

知人や取引先との関係をつくり、深め、維持するために、飲食代をおごって招待することもよくあります。健康のため、食材の安全には気を使い、ちょっと値段は高いですが国産の有機野菜を買っています。

一方、私服にほとんどお金を使うことがなく、数年に1回、破れたり毛玉になって着れなくなって買い替える程度。それもユニクロかジーユーで買います。

つまり、「欲しい」という衝動が生まれたときは、自分なりの合理的な評価法をつねに発動し、それでも納得できるときにようやく財布を開くようにする。そうすれば「欲しい」という感情を捨てられ、無理せずお金が貯まるようになります。そしてすべての出費に納得感を得られ、ひいては満足できる生き方になると考えています。

(4) 完璧主義が世界を狭くしてストレスを増やす

「完璧主義」も捨てたい習慣のひとつです。完璧主義のデメリットとしては、たとえば次の4つが考えられます。

① アクションが遅れる

完璧な準備ができてから動こうとしていると、どうしても行動は遅れます。これはビジネスで、完璧なプランだと思っても、最初から完璧を求めるのではなく、6割から7割くらいの完成度でもとりあえずやってみるということです。その結果、顧客からの反応があり、意見をもらえます。まったく反応がなかったとしても、それも1つの反応です。

「次はここを改善すればもっと良い反応があるだろう」「うまくいったからもっと改良しよう」そうやって試行錯誤して、どんどん進化させていくことができます。

② 変化に対応しにくい

念入りに時間をかけて仕上げたプレゼン資料を上司に見せたとき、大きなダメ出しや根本的な修正を迫られることがあります。すると、それまで費やした時間と作業がムダになります。「最初に言ってよ……」と、一気にモチベーションも下がるでしょう。

こうした事態を回避するためには、とりあえず細部には目をつむり、スピード重視で全体のストーリーや構成をつくった段階で上司に見せることです。

すると、もし上司のイメージと違っていれば、早い段階でフィードバックを受けることができ、手戻りや作業のムダを防ぐことができます。そこで、とりあえず粗い状態でも、「いったん最後まで終わらせる」ことです。

早い段階で「一応全体像はできている」という安心感があると、それ以降は中身のブラッシュアップに専念できます。早く終わらせればその分、中身を確認したり、修正する時間の余裕ができます。

そうして、最初から「完璧」を狙わないことで、結果的にはクオリティの高いものになる、というのが自分の経験から得た教訓です。

③ 精神的に疲れる

完璧主義の人は、ストレスをためやすい傾向があります。よきビジネスウーマンであり、良き妻であり、よき母であらねばならない、と考えると、時間的にも精神的にも自分を追い込み、疲弊してしまいます。でも、「テキトーでいいや」と割り切った瞬間、いろんな強制力や圧力や義務感から解放され、毎日がとてもラクになります。

そんな「テキトー思考」になるには、「あるべき論」を捨てることです。「こうあるべき」「こうあらねばならない」という発想が自分を縛るので、それを捨てるのです。

そのために、「そのあるべき論を外れたら、どんな困ったことが起こるか？」をイメージしてみることです。たとえば家の掃除をサボった。でも人間はホコリでは死なない。

ちょっと無理矢理っぽいと感じるかもしれません。でも、そう考えることで、「そういうのもアリ」と自分を許せるようになります。

④ 他人に不満を感じやすい

完璧主義のもう一つの弊害は、他人に対しても完璧を求めるようになることです。自分が完璧だから相手も完璧であるべきだ、という発想になりがちです。それが他人に対する不寛容を生み、イライラの原因になります。「なんでこんなこともできないの！」と他人を叱り飛ばすような人です。

人は不完全だし、社会も不完全です。もちろん自分だって不完全。世の中すべてが不完全で発展途上で改善余地にあふれていると捉えれば、他人の不完全さを受け入れ、許せるようになります。すると、他人の言動にいちいち腹を立てたり、イライラすることも減り、感情的に穏やかな生活を送ることができます。

(5) 他人に依存しすぎると人間関係で不愉快になる

人間関係で不愉快になったり、不平不満になったりする最大の理由は、他人に依存しているからです。依存心の強い人は、依存する→他人のせいにする→不満がたまる、という悪循環に陥りがちです。

依存心の強い人の傾向は、「誰かのせい」という言葉に集約されます。何でもかんでも他人のせいにするのはラクかもしれませんが。しかしそれは、自分の状況を他人にコントロールされていることとなります。

「陰口を言う人」の心理に近いのですが、そういう人は自分で対策を考えることをしませんから、思い通りにならないと、すぐに不満や怒りがたまっていきます。

逆に、すべてを自己責任と決めると、頭脳がフル回転します。他人は、必ずしも自分の思い通りにはなりません。だからこそ、頼らない、依存しない、自分の力で切り開くことを前提に判断を重ねることが大切です。

そして、あらゆる出来事を「自分の責任です」と言い切れるように行動する。「自分のケツは自分で拭く」と決める。そうすれば、頭をフル回転させて、事前にリスク対策を講じ、問題解決を考えようとしています。

仕事でも、「私の責任です」「最終的には私が責任を取ります」と言い切れる人が、本当の自由を手に入れることができます。

結局、他人のせいにする人が最弱で、自分のせいにする人が最強なのです。

(6) 正義感の強い人ほど周囲から疎まれる

正義感のある人は正しい、正義感が強いことは望ましい、と考える人は多いでしょう。

しかし、実は正義感の強い人ほど周囲から疎まれ、チャンスを逃す傾向があります。理由は2つあります

1つは、自分の考え方が正義だと思い込むほど、他人の行ないを許せなくなるからです。自分と異なる価値観や行動は「悪だ」と判断し、非難し、相手の行動を正そうとします。正義感とは、実は単なる価値観の押し付けに過ぎないことがあります。

見方を変えればただのガンコ者、悪く言うと「自分の価値観に合わないことがガマンできず、批判して相手を変えようと圧力をかける人」と同義だからです。

正義感の強い人というのは、自分の考えにこだわるあまり視野が狭くなっている可能性が高いのです。

もう1つは、「正義」は、立場、環境などによって変わるため、短絡的に判断してしまわないよう注意が必要です。

こんな話を聞いたことがあります。地下鉄の中で、3人の子供が走り回って騒いでいました。しかし、その父親とおぼしき男性は、下を向いたままほったかしにしていました。見かねた隣の女性が、「お子さんが騒いでいるのに注意しないのは良くないですよ。みんな迷惑していますから」とこっそり耳打ちしました。その男性はハッと顔を上げ、こう答えました。「すみません、気が付きませんでした。さっき妻が病院で亡くなり、混乱していたんです」。

それを聞いた女性は絶句し、「無責任な父親と、わがままな子ども」という印象が、「妻に死なれて呆然としている夫と、母の死を理解できてない気の毒な子ども」という見方へ変わったのです。

ある状況を、自分の勝手な倫理観で判断し、他人をどうこう言うことが、どれほど愚かなことかわかるのではないのでしょうか。

(7) 大切なのは自分とは違う価値観を尊重すること

なんでもかんでも自分の考えが正しいと思ってしまうタイプの方は、他人との間で摩擦が起こりやすくなります。そんな人は、「この人はなぜこのようなことを言うのだろう？」

と背景を洞察する習慣を身に付けましょう。

たとえば「愛もお金で買える」と言われれば、多くの人は「そんなはずはない」と反発したくなるでしょう。そこで、「この発言の背景は何か？」を考える。わからなければ、ネットなどで調べてみましょう。

すると、新興国でモテるのは経済力がある人だとか、日本の結婚相談所や婚活マッチングサイトでも、面会の申込みが殺到するのは年収が高い人だとわかる。そこから、愛情にお金は不可欠だと考えている人は少なくない、と理解できるでしょう。

会話の中で理解できないことがあれば、素直に「どうしてそう思うんですか？」と聞くことです。家庭環境や経験で形成されたものはなかなか説明しにくいものですが、きちんと言葉に変換できる人は、その主張に合理性があるということです。

あるいは、相手に説明を求めることで、本人も「そういえばなぜだろう？」と振り返るきっかけとなり、場合によってはその主張を翻すこともあるかもしれません。

逆に、「おかしいに決まっている」「ダメなものはダメ」などと論理的に説明できない人の主張は、何ら根拠がないということなので、無視したほうが良いとわかります。根拠もなければ検証もしようがないので、その人は基本的に自分の発言に責任を持っていないということだからです。無責任な人に何をしても言っても無意味なので、スルーするに限ります。

みらい経営グループ代表 石川 光男

8月の税務と労務

- | | |
|------------------------|-----------|
| ・ 6月の決算法人の確定申告、消費税など納税 | 期限(8月3日) |
| ・ 12月の決算法人の中間申告、納税 | 期限(8月3日) |
| ・ 12月の決算法人の消費税の中間申告 | 期限(8月3日) |
| ・ 7月分源泉所得税納付 | 期限(8月10日) |
| ・ 個人事業者の消費税の中間申告 | 期限(8月3日) |

税理士法人みらい経営 (発行元)

税理士・中小企業診断士 社会保険労務士・行政書士

石川 光男

〒456-0051 名古屋市熱田区四番二丁目14番34号

TEL 052 (651) 6000 FAX 052 (652) 0066

MAIL ishikawa@ishikawakk.or.jp HP <https://www.mirai-kg.com/>